

第48回技能五輪国際大会

「CNC旋盤」及び「CNCフライス盤」職種

日本代表選手選考会

技能五輪国際大会「CNC旋盤」「CNCフライス盤」職種日本代表選手選考会は、①技能五輪全国大会の「旋盤」「フライス盤」職種において、年齢等の要件を満たし(20歳以下)、優秀な成績を収めた者であって、国際大会への参加意思を有する者、②全国大会とは別に開催されるCNC旋盤職種及びCNCフライス盤職種日本代表選手選考会別枠予選会(以下「別枠予選会」という。)において最優秀の成績を収めた者を対象として、国際大会に準じた方法で競技を実施することにより、国際大会の「CNC旋盤」職種及び「CNCフライス盤」職種に出場する日本代表選手を選抜することを目的として実施します。

日程

令和7年9月28日(日)～10月2日(木)

9月28日(日)

工具展開等

9月29日(月)

事前練習

9月30日(火)～10月2日(木)

競技日

会場

DMG森精機株式会社 伊賀事業所
(三重県伊賀市御代201番地)

主催

厚生労働省、中央職業能力開発協会

後援

(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構、愛知県職業能力開発協会、
山口県職業能力開発協会、(一社)全国技能士会連合会

協賛

DMG MORI



Mitutoyo



●技能五輪国際大会とは

原則22歳以下の青年技能者を対象に、2年に一度、幅広い職種の技能競技を通じて、参加国・地域の職業訓練の振興および技能水準の向上を図るとともに、国際交流と親善を目的に開催される唯一の世界レベルの技能競技大会で、ワールドスキルズ・インターナショナル(WSI)により運営されています。WSIには、86か国・地域が加盟(2024年2月時点)しています。日本選手団は1962年から参加しています。また、これまでに1970年(東京)、1985年(大阪)、2007年(静岡)の3大会を日本で実施しましたが、2028年の第49回大会が愛知において開催されます。2026年の第48回大会は中国・上海で開催予定です。メカトロニクス、情報ネットワーク施工、建築大工等多くの職種において、今年10月に開催される第63回技能五輪全国大会が日本代表選手選考を兼ねる大会となっています。



CNC Turning and CNC Milling
JAPAN SELECTION
for Shanghai 2026

選考会の
詳細情報は
こちら



中央職業能力開発協会HP

「CNC旋盤」職種

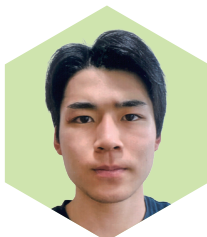
CNC旋盤(CNC Turning)とは、加工する材料を機械の軸に固定して回転させながら、回転数や刃物の位置などをコンピュータで制御し、加工する工作機械です。この機械を使って、複雑な形状の部品を精密に作るのが「CNC旋盤」職種です。競技では、課題図面をもとに加工方法・手順をイメージしたプログラミングと、加工機械を巧みに操作する技能を駆使し、完成した作品の精度を競います。

参加選手

第62回技能五輪全国大会
金賞

片野 諒人

所属 (株)日立製作所
鉄道ビジネスユニット
笠戸事業所



第62回技能五輪全国大会
銅賞

柴田 怜和

所属 (株)デンソー



第62回技能五輪全国大会
銅賞

鳥居 俊介

所属 トヨタ自動車(株)



第48回技能五輪国際大会
日本代表選手選考会別枠予選会
出場選手

神田 陽向

所属 トヨタ自動車(株)



技能五輪国際大会
成績推移

第43回
敢闘賞

第44回
敢闘賞

第45回
銀メダル

第46回
銀メダル

第47回
銀メダル

「CNCフライス盤」職種

CNCフライス盤(CNC Milling)とは、材料を機械のテーブル上に固定し、主軸に取り付けた工具を回転させ、工具を縦・横・上下に移動させて加工する工作機械です。工具動作の制御にはプログラムを用い、プログラムはノートパソコン上のソフトウェアで作成します。競技は国際大会と同様の独立した3つの課題で構成されています。選手は、①図面から製品形状および図面指示の把握、②ソフトウェアのCAD機能で図形の描画、③加工工程を検討し同様のCAM機能で加工プログラムの作成、④CNCフライス盤にプログラムを転送し、加工して寸法を確認、⑤確認結果から修正値を入力し再び加工し、仕上げます。採点では、作品は図面の要求どおりの形状や寸法となっているか、表面の仕上げ状態は良好か、面取りの有無までもが審査対象となります。

参加選手

第62回技能五輪全国大会
金賞

鳥居 圭佑

所属 (株)デンソー



第62回技能五輪全国大会
銀賞

鈴木 怜真

所属 トヨタ自動車(株)



第62回技能五輪全国大会
銀賞

山田 夢翔

所属 トヨタ自動車(株)



技能五輪国際大会成績推移

第43回

敢闘賞

第44回

銀メダル

第45回

銀メダル

第46回

銅メダル

第47回

敢闘賞

